

緑の担い手

山のプロを 目指して

美和木材協同組合
大森 正弘

「木を切りたい」「田舎で静かに暮らしたい」という強い思いから、前職を早期退職し、林業に転職してから今年で4年目になります。

1年目は、慣れない山での作業に戸惑いながら、必死に目の前の仕事をこなしていくだけの毎日、周りを見る余裕は全くありませんでした。また、体力的には多少の自信がありました。また、炎天下での下刈りや列状間伐は、その自信を簡単に打ち砕くほど過酷なものでした。

しかしながら、「継続は力なり」という言葉のとおり、2年、3年と続けていく中で、徐々に体力も付き、作業に必要な様々な技能が少しずつ向上し始めると、作業全体の流れも理解できるようになり、現在は、充実感を持って日々の作業に励んでいます。

現在、私は「緑の雇用」研修の3年目を受講しているところで、勢いだけで転職した私にとって、この研修は伐倒の基本から高性能林業機械の操作まで、必要な技能を習得することができただけでなく、林業界を取り巻く様々な現状について学ぶこともできるので、非常に有益なものとなっています。

今後も、研修で学んだことを現場で生かしながら、より一層技能に磨きを掛け、一人前の山のプロになるべく日々精進したいと思えます。

